

赤い羽根共同募金



東部小6年 岡戸 梨緒奈さん

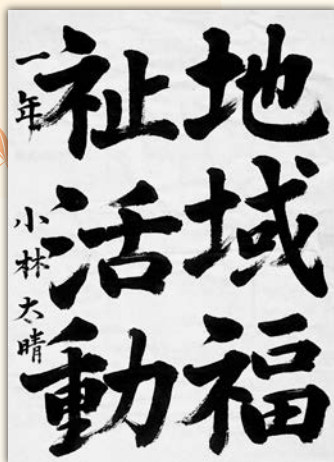


英比小5年 馬田 絆在さん

赤いはね



東部小2年 神谷 英奈さん



阿久比中1年 小林 太晴さん



草木小5年 大岩 美悠さん



英比小3年 常盤 咲乃さん

町内の小中学校の児童生徒を対象に『たすけあいの心の育成』を目的に第七巡回赤い羽根協賛児童生徒作品募集を実施しました。

町内の小中学校から書道八七四点、ポスター二八六点の応募をいただき、その中から愛知県に、各三点を推薦します。

主な内容

- 赤い羽根共同募金
- サマーボランティア体験記
- 令和3年度会員加入報告
- あぐいグイグイネット
- 善意をありがとう
- 新型コロナウイルス特例貸付延長のお知らせ
- パートヘルパーさん募集

阿久比町の赤い羽根共同募金

令和2年度の共同募金運動は、皆様のあたたかい心のこもったご支援とご協力により、大きな成果をあげることができ、心よりお礼申し上げます。

お寄せいただいた善意は、阿久比町内、また県内各所で、安心して暮らせるまちづくりの実現のために役立てられています。

本年も10月1日から全国一斉に共同募金運動が実施されます。赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いいたします。

阿久比町共同募金委員会 会長 永池 武光



令和3年度 赤い羽根共同募金活動計画書

令和3年度赤い羽根共同募金阿久比町目標額 **4,400,000円**

令和3年度も次のとおり赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします。

戸別募金

- 期 間 令和3年10月1日から令和3年11月30日まで
- 目 標 額 3,500,000円 一世帯…500円（目安）
- 推 進 員 行政協力員
- 推進方法 各世帯へ戸別募金用の封筒を配布し、後日回収する方法により実施します。

法人・事業所募金

- 期 間 令和3年10月1日から令和3年10月31日まで
- 目 標 額 650,000円
- 推 進 員 民生児童委員、社会福祉協議会の役員及び評議員
- 推進方法 昨年度の実績を踏まえ、各法人等に訪問する方法により実施します。

職域募金

- 期 間 令和3年10月1日から令和3年10月31日まで
- 目 標 額 110,000円
- 推 進 員 各協力事業所
- 推進方法 各協力事業所へ募金箱を設置し、従業員等へ協力を依頼します。

学校募金

- 期 間 令和3年10月1日から令和3年11月30日まで
- 目 標 額 72,000円…町内小・中・高6校
- 推 進 員 各学校の児童及び生徒
- 推進方法 各学校独自の方法で実施します。

街頭募金

- 目 標 額 60,000円
- ※今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、街頭募金は中止します。

その他(イベント募金)

- 期 間 令和3年12月11日(土) 13時30分～15時30分
- 目 標 額 8,000円
- 実施場所 アグピアホール
- 推 進 員 社会福祉協議会



令和2年度実績額
4,191,062円

皆様からお寄せいただいた寄付金は、**阿久比町の町をよくする活動に約87%**、愛知県内の福祉施設の整備や団体の事業等に**約13%**が役立てられます。

阿久比町では、次の事業に活用させていただいています。

● 地域福祉推進のために

1,891,152円 (45.0%)

- 町社会福祉大会事業
- 送迎サービス事業
- 団体活動助成（遺族会）
- インターネット環境整備事業
- こころの相談



送迎サービス事業

● 高齢者のために

568,010円 (13.6%)

- 敬老記念品事業
- 団体活動助成（いきいきクラブ）
- いきいきクラブ友愛活動助成事業



いきいきクラブ友愛活動
(保育園へ可動式のテーブルになるベンチを寄贈)

● 障がいのある方のために

255,900円 (6.1%)

- 団体活動助成
(身体障害者福祉会、
手をつなぐ育成会、
精神障害者家族会)



障がい者運動会事業

● 子どもたちのために

665,000円 (16.0%)

- 町福祉協力校事業
- 団体活動助成（子ども会連絡協議会、母子寡婦福祉会）



子ども会お楽しみ交流会

● 歳末たすけあいに

60,000円 (1.4%)

- 生活困窮者等食料支援事業

● 共同募金運動推進のために

217,000円 (5.2%)

- 共同募金運動事務費

● 全県域の福祉推進のために

534,000円 (12.7%)

- 社会福祉施設の整備費
- 社会福祉団体の事業費
- 募金運動推進活動費

こころのお悩み無料相談室を利用しませんか

家にひきこもっている家族や身内がいるのでどこかに相談してみたい、新型コロナウイルスのことで気力があらずストレスがたまっている、何かしたいけどどうしていいかわからない、こころの中でいろいろ悩んでいるがどこに相談していいかわからない、何かしたいがきっかけがない。

そんな悩みが気になった方、ひとつでも当てはまる方は、「心の問題の専門家」の臨床心理士に悩みごとを聞いてもらいませんか。秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

日時 毎月第4火曜日または第3火曜日 午後2時～4時

場所 オアシスセンター（阿久比町保健センター）2階 会議室

対象 阿久比町在住の方

定員 1日2組（相談時間は1組45分間）
（1組目は午後2時～、2組目は午後3時～）

費用 無 料

申込 阿久比町社会福祉協議会へ電話で予約してください。
（電話 0569-48-1111（内線1523））

相談日

10月	26日(火)
11月	16日(火)
12月	21日(火)
1月	25日(火)
2月	22日(火)
3月	22日(火)



小さな体験・大きな感動

サマーボランティア体験記

夏休みを利用して福祉への理解を深めようと、七月三〇日から八月六日にかけて「令和三年度サマーボランティアスクール」が行われました。

高校生、二十四名の参加者があり、「いっぽ」「もちの木園」「ハミング」「OHANA・げんきッズあゆみ」の各施設で体験し、いろいろな思いを残しました。

いっぽ ふれあい体験

阿久比高校二年生 傍島 千陽

今回、色々な障がいを持った、年齢も違う子たちと関わって、『目で見て、耳で聞く。』ことの大切さとコミュニケーションをとる大切さを改めて学ぶことができました。話してみること、その子の個性やいい所がたくさん分かって、反応してくれたり、興味を示してくれるのが、とても嬉しかったです。

また、普段は知ることがあまりできない子どもたちの間に、喧嘩を止めたり、子どもを主役に立たせるための細かな準備を行う先生方の大変さややりがいも知ることができました。私は将来、子どもに関わり、子どもの成長をサポートでき



る保育士や保健師になりたいと思っています。今回のボランティアで、保育園の体験とは少し違う新しい体験が行えてとてもいい経験になりました。この経験を将来に役立てるだけでなく、これからの生活で、『日々相手を想う』ということにも役立てていきたいなと思いました。色々なボランティアに個人でも参加していきたいです。

もちの木園 ふれあい体験

阿久比高校二年生 瀬尾 百花

私は、今回もちの木園に行ってみて『障がい者施設』という言葉は、似合わないなと感じました。どちらかというと『地域のコミュニケーション』のようなアットホームで温かい雰囲気でした。

一言で障がい者と表されていて、私にもできないことがたくさんあるように、できるところとできないことがそれぞれ違うだけだということを実感しました。

それぞれの個性を活かして一緒に生きること

は、障がいを持つ持たない関係なく、とても大切なことだと強く感じました。

海外では、障がいのことを『神様からの贈り物』と表現する国があると聞いたことがあります。日本がそんな素敵な表現をできるようにするのは、ずっと先かもしれないですが、『それぞれの個性を大切に』、『困っている人を助ける』こんな当たり前なことを当たり前にできるように、自分の意識を高く持ち続けたいと思います。



ハミング ふれあい体験

阿久比高校二年生 岩井 友里

私は、今日の朝、ボランティアの活動がうまくできるか、きちんとこなせるかが不安でとても緊張していました。手伝ってあげるべきところも頭が回らなくて行動できなかったりしていました。

でも、一日過ごしていくと、みんなとすこしずつ仲良くなることができました。みんなも積極的に好きなものとかの話をしてくれたりしました。

正直、障がいがあるかないかは、言われなとあまりわかりませんでした。それくらいみんな、友達のように接してくれました。みんなの

ことを一日でたくさん知れたり、知ってもらえたりしました。

このボランティアは、私にとって、とても良い経験になったし、これからも忘れないと思います。

これからもボランティアをする機会があったら積極的に参加したいと思いました。



OHANA・げんきッズあゆみ

ふれあい体験

阿久比高校二年生 中村 天音

小さい子は可愛いだけじゃなくて、大変だなと思う部分が多かったです。

その子自身ができることを自分でしてもらうことは、大切だと思っていたので、できなさそうなときに手助けをするようにしました。

色んな子が話しかけに来てくれて、その時に誰から、どうその願いを叶えてあげるのか考えるうちに増えていくことが大変でした。

みんな自分のやるべきこと（掃除の時間るとき）が分かっている、どうその仕事をするのかということまで教えてくれたので理解していただきなと思いました。

OHANAさんの子たちも自分のことについて話してくれたり、一緒に遊んだりしてくれて

嬉しかったです。

大勢の小さな子たちと関わるのはとても大変だけどこんな良い機会のはめったにないのでとても良い経験になりました。

楽しめてよかったです。



OHANA・げんきッズあゆみ

ふれあい体験

阿久比高校二年生 松林 美月

障がいのある子どもたちと過ごすときは、何でも許してあげてやりたいことをやらせてあげるのが正解だと思っていたけど、駄目なことは駄目だとはっきり言ってあげたり、方法を一緒に考えてあげるのが優しさなんだと思いました。

一人ひとりが個性を持ち、気持ちを不器用ながらもに伝えてくれるみんながとても可愛くてとても楽しかったです。と同時に、保護者の方の大変さを痛感しました。

子どもを育てることは楽しさだけでなく、それ以上に心配な気持ちや責任感が重くつきまわってくるものだなと思いました。

子どもたちだけではなく保護者も支援する先生方のまっすぐな姿勢に感動しました。

私もこんな大人になりたいと思え、将来を見つめなおす良い一日になりました。

OHANA・げんきッズあゆみ

ふれあい体験

阿久比高校二年生 太田 理万

今日、一日ボランティアとして、OHANA・げんきッズあゆみさんに参加してたくさんのことを学びました。

学童の子たちとのふれあい方、障がいのある子たちとの距離のとり方など直接かわらないと分からないことを知りました。

私は主に学童の子たちと関わる機会が多かったのですが、何人かの子が同時に話を発する時があつて、どの子から聞いていけばいいのかわかんなくなつて、一番最初に言った子の話を聞いたあと、次に話してきた子に聞いたら『大丈夫』と言われたのですが、先生方と話した時に『こうした方がよかったよ』とアドバイスを頂いたので理解でき、今後こういう時があつたら、今回このボランティアで学んだことをいかして、たくさんの方と関わっていきたいと思いました。

すごい貴重な体験ができました。ありがとうございました。



ご協力ありがとうございました!

令和3年度 社会福祉協議会会員加入報告

総額 4,598,200円

地 区 別	文書送達数	特 別 会 員			賛 助 会 員		一 般 会 員		合 計	
		加入数	口数	金 額 円	加入数	金 額 円	加入数	金 額 円	加入数	金 額 円
横 松	87	0	0	0	1	2,000	75	37,500	76	39,500
萩	114	0	0	0	13	26,000	88	44,000	101	70,000
宮 津	590	1	1	5,000	31	62,000	356	178,000	388	245,000
宮津団地	830	2	2	10,000	9	18,000	382	190,800	393	218,800
宮津山田	340	0	0	0	6	12,000	299	149,600	305	161,600
板 山	310	3	3	15,000	23	46,000	235	117,500	261	178,500
福 住	270	1	1	5,000	22	44,000	202	101,000	225	150,000
福住園高台	245	0	0	0	4	8,000	195	97,500	199	105,500
白 沢	885	4	4	20,000	27	54,000	583	291,500	614	365,500
白 沢 台	228	4	4	20,000	11	22,000	202	100,500	217	142,500
高 根 台	545	6	6	30,000	10	20,000	498	249,000	514	299,000
草 木	1,180	14	17	85,000	35	70,000	969	484,000	1,018	639,000
坂 部	550	4	4	20,000	7	14,000	396	200,000	407	234,000
卯 之 山	396	6	6	30,000	27	54,000	287	143,100	320	227,100
阿久比団地	155	0	0	0	4	8,000	130	65,000	134	73,000
阿 久 比	435	4	4	20,000	26	52,000	234	117,000	264	189,000
棕 岡	228	8	8	40,000	22	44,000	166	83,000	196	167,000
矢 口	225	0	0	0	3	6,000	168	84,000	171	90,000
高 岡	125	0	0	0	17	34,000	93	47,200	110	81,200
植	980	4	4	20,000	38	76,000	436	218,000	478	314,000
大 古 根	510	1	1	5,000	22	44,000	393	197,500	416	246,500
メイツ翼ヶ丘	110	0	0	0	3	6,000	49	24,500	52	30,500
陽なたの丘	815	0	0	0	1	2,000	104	52,000	105	54,000
町外及び 役場部課長		1	1	5,000	26	52,000	0	0	27	57,000
合 計	10,153	63	66	330,000	388	776,000	6,540	3,272,200	6,991	4,378,200

団 体 会 員 70団体 210,000円

施 設 会 員 5施設 10,000円

総 合 計 4,598,200円

このコーナーでは、阿久比町で気になるボランティア、NPO、福祉施設の場所や活動のニュースをご紹介します。



ひとり親家庭、子育て中の生活困きゅう家庭のための

フードバンク愛知様から寄付いただいた お米の配布を行います。



阿久比町社会福祉協議会では、フードバンク愛知様よりお米のご寄付をいただきました。つきましては、ひとり親家庭や子育て中の生活困きゅう世帯を対象に**お米の配布**を行います。受取を希望の方は、お手数をおかけしますが、下記の申込方法を確認しお米の受取をお願いします。

- 対象者**
 - 国の児童扶養手当、愛知県遺児手当、阿久比町遺児手当のいずれかを受給している**ひとり親(母子父子)家庭**
 - 社会福祉協議会の実施する**生活福祉資金新型コロナウイルス特例貸付を借りている18歳以下の子育て中の生活困窮世帯**
- 配布数**
 - 18歳以下のお子さん一人あたり**3キロの白米**
※受取にあたってフードバンク愛知様よりご寄付いただいた8月中旬に精米したお米であることをご理解ください。
※数量は余裕をもって準備していますが、なくなり次第終了します。
- 受取方法**
 - 10月9日(土) 9時～16時の間に阿久比町オアシスセンター(保健センター)1階ロビーにてお米の受取にお越しください。**
※11日(月)～15日(金)、18日(月)～22日(金)の9時～17時の期間についても保健センター3階社会福祉協議会にて受取が可能です。
- 申込方法**
 - 右記QRコードを読み込み、申込フォームにご記入ください。(googleのログインが必要になります)。QRコードの読み込みができない方は、下記メールアドレスに「お米希望」と見出しに記入の上、お名前、住所、電話番号、受取日時、お子さんの数をお申込みください。**
 - 電話でも受付をしています。



申込先 阿久比町社会福祉協議会 担当/守口・今村・加藤
住所/阿久比町大字卯坂字丸の内85 オアシスセンター3階 Eメール: agui-sw@cac-net.ne.jp 電話 (0569) 48-1111 (内線1523)

ご不要になった衣料を提供ください。 デンソーハートフルクラブ (ボランティアグループ)

(株)デンソー阿久比製作所では、ご家庭で不要となった衣料を回収し、NPO法人「日本救援衣料センター」を通じて、アフリカ、中近東、南米など衣料を必要とする皆様に寄贈する活動を続けています。世界では「脱け出せない貧困」や「過去に経験のない自然災害」また「紛争地域の拡大・拡散」などにより1枚の衣料を必要とする人々が多くいらっしゃいます。今年も、不要になった衣料をご提供下さい。また、衣料を送るために必要な輸送費カンパ金のご協力もお願いします。

- 回収期間：2021年10月30日(土)～11月5日(金)
- 回収場所：(株)デンソー阿久比製作所 正門守衛所受付(24時間対応)
- お問い合わせ：(株)デンソー阿久比製作所 ボランティア支援窓口(担当：新美)
〒470-2298 阿久比町大字草木字芳池1 TEL 0569-49-1680
E-mail: sakie.niimi.j6c@jp.denso.com

■寄贈していただきたいもの

1、衣料品

新品の	下着、靴下、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ 企業制服(ブラウス、カーディガン、作業着)
洗濯済の シミ・傷み のないもの	毛布、ズボン、ジーンズ、Tシャツ、ポロシャツ、Yシャツ、トレーナー、セーター、ブラウス、カーディガン、ジャンパー、オーバーコート



2、海外向け輸送費カンパ金(任意)

目安：1箱につき1,500円
カンパのご協力もお願い致します！

■受け取りできないもの



スーツのジャケット、ブレザー、スカート、ワンピース、和服、ベビー服：上下つながったもの、80cm未満のもの、ベビー用品、ふとん、小物類(ネクタイ、ベルト、帽子、手袋、マフラー)、くつ、かばん、雑貨、文具、食品
その他 シミや痛みのあるもの

福祉基金で住みよい福祉のまちづくり

福祉基金は、皆様の善意のお金を大切に積み立て、その利息を福祉の事業に使い住みよいまちづくりを進めようとするためのものです。



善意をありがとう

令和3年7月から令和3年9月までに下記の方々よりご寄付いただきました。
厚くお礼申し上げます。

福祉基金寄付

氏名	寄付内容		備考
	区分	金額	
高根会様	現金	34,859	団体解散のため

氏名	寄付内容		備考
	区分	金額	
富田耕司様 (有限会社クイット)	現金	21,775	

人権・行政・心配ごと相談

毎月第1・第3木曜日 9:30~11:30
中央公民館308号室

こころの悩み相談室

(要予約/社会福祉協議会)

毎月第4火曜日または第3火曜日 14:00~16:00
オアシスセンター2階会議室

新型コロナウイルス特例貸付事業「延長」のお知らせ

愛知県社会福祉協議会では、低所得世帯等に対して生活費等の必要な資金の貸付け等を行う生活福祉資金貸付制度を行っています。

昨年3月から本制度は、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入が減少し生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の貸付を実施しており、申込受付期間が令和3年11月30日頃まで延長されました。

新型コロナウイルスの影響で収入が減少し、生活資金でお悩みの方はご相談ください。

■お問い合わせ、お申込み先 阿久比町社会福祉協議会 電話 (0569) 48-1111 内線1523

パートヘルパーを募集します!

- 仕事内容 高齢者や障がい者の家庭を訪問し介護する仕事
- 資格 介護福祉士、ヘルパー2級以上、初任者研修終了者、看護師のいずれかの資格をお持ちの方
- 勤務時間 月曜日~金曜日、8:30~17:15の間、週に1日、1時間からでも可
- 賃金 時給1,000円

電話 0569-48-1111 (内線1523) 担当/品川



雑記

先日、近くに住む兄から家を整理してたら、『こんな物が出てきたから取りにおいで』と連絡があり、早速取りに行くとお抹茶茶碗六個である。

あつ! 思い出した。私は大学生の時、茶道部に所属し、昭和三十九年の秋の大学二年の時、当時一緒に加藤君の稽古をしていた瀬戸の加藤君の所の窯元(葵窯)で作陶した茶碗である。

五〇年以上前のことだが、今でも鮮明に覚えている。黒楽、志野、黄瀬戸、鼠志野、楽茶碗二つ。加藤唐九郎張りの黒楽、形はまあまあだが重い、志野、呑み口がいがつになつていて少し変、鼠志野、変にこでわつて釉薬が垂れてこれじゃあだめ。一番気に入っているのが黄瀬戸の茶碗。これはひよつとしたら名品かも知れない。

今でもお点前はできるだろう。袱紗さばきもできるだろう。もう今では茶道とは縁がない生活になつていますが、折あればお茶会に出向きたいと思う気分になりました。この時期、栗きんとんでお抹茶一服、かがでしようか。Y・O

資源を大切に! この用紙は再生紙を使用しています。



編集発行/社会福祉法人 阿久比町社会福祉協議会

〒470-2212 阿久比町大字卯坂丸の内85番地 電話 (0569) 48-1111 内線 1523・1524 ホームページアドレス <http://www.agui-shakyo.or.jp>